

解説

『オンライン学術用語集(Online Scientific Terms)』

An Introduction of the Online Sciterm and it's Background

中山 亮一

1. はじめに

漢字を取り入れ、カナを作り、日本語を増やしていく日本人は、明治になり、大量に流れ込んできた新しい概念を、漢字を使って、多くの同音異義語を発生させながらも、日本語化した。よく採りあげられる例に「かていのもんだい」がある。課程、過程、家庭、仮定でまったく別の意味になる。

それにしても当事者は大変であったに違いない。この大きな嵐をさらに上廻るものが、第2次世界大戦後にやってきた。激しい流れに巻き込まれながらも、一応は、これを処理し凌いだ形には現在なっている。ただ静かに深く検討すれば、当用漢字や現代かな使いを含み、表記方法等、例えば、訓令式とヘボン式のローマ字に加え、長音母音では、横バーの例は、キ「—」ボ「—」ドであり、王監督はO「H」、さらに駅名の表示は母音の上に「横バー」、キーボードの入力では、東京はTOKYOに、「U」を付けないと出てこないとまったく統一が取れていない。このように、まだかなりの修正すべき問題点が、国語全体に存在することは明白であり、学術用語もそこから逃れることはできない。

2. 学術用語の標準化と選定

実際に仕事をする上での必要から、標準化の動きは、明治から理科工科の分野で始まり、医学や他の方面にも広がって行った。1947年以降、名称は変化したが、文部省学術用語標準化研究員として、各方面から参加を要請、調査、研究、選定を実施した。(私もその1人である)標準化の眼目は、用語の採用と同形異義語の整理およびあまりにも専門的な語は除くなどの検討である。実行に移り、収集、

選定の終えた時点で一段落。学術用語の制定・普及について調査審議された36専門分野のうち、中断、継続審議中を除く31専門分野については成案が得られ、現在編集中の医学編を除く30の専門分野が学術用語集シリーズとして刊行されている。

用語集として、語の羅列のみで説明文もなく、今さら未解決な点も多い。ここまで経過では、読みは国で決めた訓令式のローマ字を採用。また、全体を見た時に、元文部省学術調査官 青戸 邦夫氏の個人的な努力に依存した部分が大変大きいので、この成果は立派であっても、これから将来に向かって、選定、表記を含め、どこの何を中心としていかに対応し、改良・修正を行なわなければならないかは大きな問題である。文部科学省における研究の補助金のあても、今のところ見込みはないようである。

経過としては、文部省の審議会が主導権をとり、その扱う分野も、1947年頃より、初めの10から徐々に増やし、自然科学として理学、工学、農学、医学、薬学、人文科学として哲学、文学、法学、経済学の部門において、専門分野の委員が選出され、作業を実施。語数は旧版、増訂版、増訂2版があるので単純には足せない。現時点では電気工学編の場合、増訂2版15,800語を現行用語とみなしそれぞれの専門分野の最新版を集計した場合には、約249,000語に達している。

3. データベース化

インターネットによって学術用語を検索できるように、学術情報センター(2000年4月から国立情報学研究所と改組)が1991年から、文部省(現文部科学省)や各方面の協力

のもとに話が持ち上がり、翌年の 1992 年から、データベース化を開始した。

作業は、著作権問題を解決しながら、NACSIS—Sciterm : <http://sciterm.nii.ac.jp/> (次ページに冒頭画面を表示する)として発足した。文部科学省科学研究費補助金、研究成果公開促進費で行われたものである。

なお、著作権については、1984 年までに刊行されたものについては文部省のみであり、それ以後の刊行分は、それぞれの学会と文部科学省の共有になっている。この著作権問題をクリアーすることが、データベース化の前提にある。文部科学省はすでに OK をだしている訳で、これはあくまでも私の想像に過ぎないが、国立情報学研究所のスタッフに対し、専門分野の数が多く、しかも、ある 1 つの専門分野が、幾つかの学会の集合体である場合には、単純には片がつかない可能性がありそうである。さらに、印刷、出版社としては、売上の減少の危険性を考えているのかの問題もあるかもしれない。例えば電気工学編(増訂 2 版)の著作権所有者は、刊行物の奥付に明記されているが、文部省と電気学会である。したがって、国立情報研究所としては、折衝の相手は電気学会となる。しかし、この編の中には、電気学会、電子情報通信学会、テレビジョン学会(現映像情報メディア学会)、照明学会、情報処理学会といった複数の学会が含まれ、関与している現実がある。かくして刊行されている 30 の専門分野のうち、22 専門分野についてデータベース化している。今までに一応全部の窓口にアプローチをしたようではあるが、客観的に見て、良くここまで、限られた人数で成果を挙げてきたとの見方ができるであろう。

4. 検索

- 1) 「オンライン学術用語集」ホームページ <http://sciterm.nii.ac.jp/> にアクセスすれば、検索画面が現れる。
- 2) 出版物が「・・編」と表記したので、ここでも専門分野のことを「編名」と表記した。「専門分野」 = {分野} = 「編」である。

- 3) 必要な編を選択し、検索する言葉を入れ、「検索開始」をクリックすればよい。
- 4) 同じ分野で、旧版と新版の用語集が存在する場合があり、それをデータベース化しているが、混乱を防ぐために、旧版は別の画面から検索できるようにしている。したがって、旧版と新版をそれぞれ検索し、用語の変化を調べることも可能になっていく。
- 5) 検索語として、日本語として、漢字表記、カタカナ読み、訓令式ローマ字読みおよび英語が使える。
- 6) 2000 年 2 月現在、著作権者である文部科学省および各学会の許諾を得た 22 分野(編)の収録が完了。そのうち 4 分野(編)は旧版も収録してある。

5. 検索例

検索語を工夫すれば、分野間の表記のゆれも確認できる

中間一致、後方一致も可能。

前方一致 この場合には 末尾にアスタリスク * を付ける

検索語: コンピュータ* アスタリスクは 1 バイト (*)

コンピュータ computer 心理学編

コンピューターグラフィックス computer graphics 建築学編 (増訂版)

1) 正規表現検索

検索語: /インター?フェ[イー]ス/

マン・マシンインターフェイス

man-machine interface 心理学編

マン・マシンインターフェース

man-machine interface 言語学編

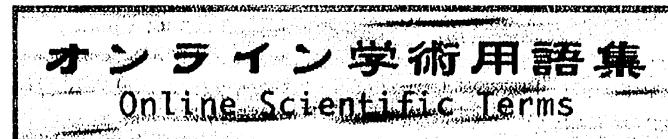
2) 論理演算検索

論理積 複数の語を and で結ぶことにより可能となる

論理和は or, 論理差は not をつかう。論理演算は上記 3 語の総称

検索語 圧電 and 素子ならば

圧電変換素子 piezoelectric crystal element 物理学編 (増訂版)



国立情報学研究所

著作権について

- 本サービスの接続先(URL)が <http://sciterm.nii.ac.jp/> に変更になりました。
- 検索システムを改善しました。変更点についてはこちらをご覧ください(2001.8.17)。

学術研究の成果を広く流通させ、正しく評価・検証等が行われるためには、用語、特に専門的用語(学術用語)の意味の定義や用法等について、研究者間で共通の認識が存在する必要があります。

このため、各学問分野で学術用語の標準化が進められており、その成果は、各分野の『学術用語集』として刊行されています。この学術用語検索システムは、著作権者である文部科学省及び各学協会の許諾を得て、これらの『学術用語集』に収録されている学術用語を、インターネットを通じて検索することができるようになりました。

なお、同じ編について複数の版の用語集がデータベース化されているものについては、最新版のみこのページに収録しています。旧版を参照されたい場合は、▶旧版用語集の検索画面をご利用ください。

ご利用になる前に、「著作権について(ご利用にあたっての注意事項)」をご覧ください。

HELP

- 対象とする編名を選択してください。(複数選択可) 全て選ぶ リセット

- | | | | |
|--|----------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 遺伝学編(増訂版) | <input type="checkbox"/> 海洋学編 | <input type="checkbox"/> 気象学編(増訂版) | <input type="checkbox"/> キリスト教学編 |
| <input type="checkbox"/> 計測工学編 | <input type="checkbox"/> 言語学編 | <input type="checkbox"/> 原子力工学編 | <input type="checkbox"/> 建築学編(増訂版) |
| <input type="checkbox"/> 航空工学編 | <input type="checkbox"/> 採鉱・金学編 | <input type="checkbox"/> 地震学編 | <input type="checkbox"/> 心理学編 |
| <input type="checkbox"/> 数学編 | <input type="checkbox"/> 船舶工学編 | <input type="checkbox"/> 地学編 | <input type="checkbox"/> 地理学編 |
| <input type="checkbox"/> 天文学編(増訂版) | <input type="checkbox"/> 図書館情報学編 | <input type="checkbox"/> 土木工学編(増訂版) | <input type="checkbox"/> 物理学編(増訂版) |
| <input type="checkbox"/> 分光学編(増訂版) <input type="checkbox"/> 論理学編 | | | |

- 検索する語を入力してください。



注:「計測工学編」「地震学編」については、増訂版が刊行されていますが、このデータベースには現在収録していません。

このデータベースは、文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費により、作成されたものです。

国立情報学研究所 開発・事業部 アプリケーション課
sciterm@nii.ac.jp

『オンライン学術用語集』冒頭画面

圧電変換素子 piezoelectric element

物理学編 (増訂版)

圧電セラミック素子 piezo-ceramic element 物理学編 (増訂版)

圧電素子 piezoelectric element 分光学編 (増訂版)

となる。なお、検索画面の“HELP”に詳しい説明が出ている。

6. 表示

検査結果一覧

- 1) 上部に それぞれの分野(編)での ヒット数も表示される。
- 2) 一覧の中で 検索語とマッチした部分は 赤い字で表示される。

詳細

- 3) 検索結果一覧表示で いづれかの用語を クリックすると 更に詳細な情報が表示される。

7. コード

●品詞コード 例えば「形容的な働きをする言葉として用いる場合の用語」の意味を表わす等

例 言語学編の系列的 paradigmatic では adj.

●分野コード 分野(編)毎に分類表が定められており、各用語に1~2個ずつ付与されている。

例 天文学編(増訂版)の周波数では電:電波
天文学

8. 参照すべき用語

クリックすれば 参照先の用語の詳細が出てくる。

例 物理学編(増訂版)の IC では、集積回路
(IC) integrated circuit(IC)

9. 異義語

心理学編では 英語の normality に対して、

正常と正規性がある。

10. 冊子型と比較したオンライン学術用語集のメリット

- 1) 多分野にわたり、横断的に検索ができる。
- 2) 検索語とマッチした用語をまとめて通観できる。冊子では用語の頭の場合にかぎる。
- 3) 記述ルールを活用し検索語を工夫すれば、「5 検索例」に示すように、冊子にない検索方法ができる。用語の分析がより便利である。
- 4) 上記の特徴を活かせば、研究成果の発表の際、用語の選定が容易となり、また学術用語の制定・改定の効率も上がる。
- 5) 用語集の性格上、作成にあたり内容の正確さに細心の注意を払ったが、データの形で、学会とやり取りすることで制定、改定を含め、正確さと迅速さが、これからはさらに期待でき、標準化に寄与する。

11. 終わりに

- 1) 私個人として、アトランダムにPRしてみた結果、必ずしも学術用語に日常関係があるとは思えない人々も興味を示した。
- 2) データ化されたことで、扱いが便利となり、分析の対象としても興味が湧き、また今までにない新しい活用方法も期待できそうである。

なお、原本稿の作成にあたり、国立情報学研究所 開発・事業部 アプリケーション課ネットワークソフトウェア技術係長 小陣(KOJIN)左和子氏の協力をいただきました。ここに深く感謝いたします。

12. 問い合わせ先

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

国立情報学研究所

開発・事業部 アプリケーション課

tel: 03-4212-2320 fax: 03-4212-2330

e-mail: sciterm@nii.ac.jp